

# 国際交流ニュースレター

2014.4~2015.3

## Sapporo Medical University

International Medical Exchange Newsletter  
by Department of International Affairs and Medical Exchanges

### ■語学研修

本学の交流協定大学であるアルバータ大学(カナダ)語学研修に、12名(医学部10名、保健医療学部2名)の学生が参加しました。

研修期間中、同大学の語学研修プログラムやホームステイを通し、語学力を向上させるとともに、実際にOT,PT学科や大学病院等の施設見学を行い、カナダの医療システムについても学びました。

・派遣期間: 8月3日(日)~8月24日(日)

・研修期間: 8月5日(火)~8月22日(金)



## ■学生交流(臨床実習)

本学では、2009年から中国医科大学(瀋陽市)、2011年から韓国カトリック大学(ソウル市)と協定を締結し、学生交流(臨床実習)を行っています。

この交流事業は、アジアで医学を学ぶ学生が共に臨床実習を行うことで、国際的な視野を身につけるとともに、専門的な知識を習得することを目指しています。

### (1)中国医科大学への学生派遣

本学医学部第5学年 齋藤 真作さんと伊藤 和さんを派遣しました。

中国の医療現場の実習に興味を持ち、また、臨床医学を英語で学びたいという二人は、中国医科大学で次のとおり臨床実習を行いました。

- ・10月20日(月)～10月24日(金):内分泌科(齋藤さん)、心臓外科(伊藤さん)
- ・10月27日(月)～10月31日(金):腫瘍内科(齋藤さん)、神経外科(伊藤さん)



### (2)中国医科大学からの学生受入

中国医科大学医学部第5学年 王莉さんと聂鑫さんが来学しました。

日本の医療に興味を持ち、本学に来学された二人は、次のとおり臨床実習を行いました。

- ・1月26日(月)～1月30日(金):医学部腫瘍・血液内科学講座(王さん、聂さん)
- ・2月 2日(月)～2月 6日(金):医学部消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座(王さん、聂さん)



## (2) 韓国カトリック大学への学生派遣

本学医学部第5学年 新川 知世さんと渡井 一輝さんを派遣しました。

韓国の医療現場の実習に興味を持ち、また、臨床医学を英語で学びたいという二人は、韓国カトリック大学で次のとおり臨床実習を行いました。

- ・11月 3日(月)～11月15日(金):循環器内科(青山さん、大岩さん)
- ・11月18日(月)～11月29日(金):産婦人科(青山さん)、外科(大岩さん)

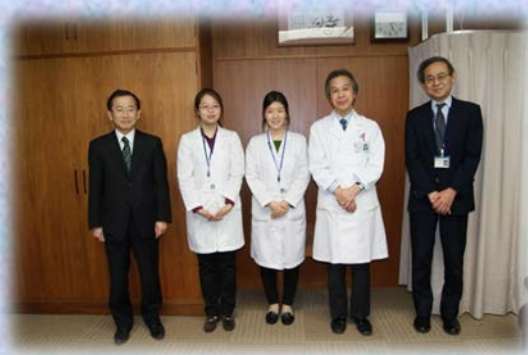
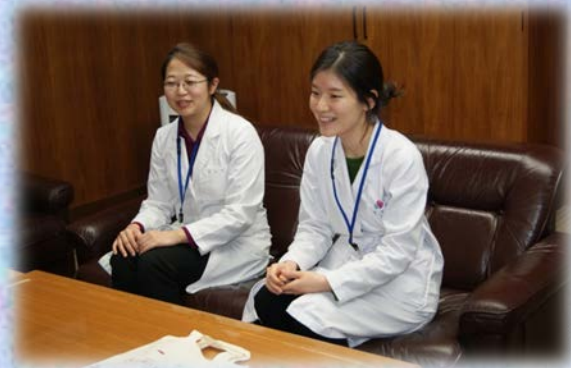


## (3) 韓国カトリック大学からの学生受入

韓国カトリック大学医学部第6学年、Yeon Su Yeon(ヨン スヨン)さんとJun Eun Hwa(チヨン ウンファ)さんが来学しました。

日本の医療に興味を持ち本学に来学された二人は、次のとおり臨床実習を行いました。

- ・2月16日(月)～2月27日(金):医学部循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座(Yeonさん)  
:医学部呼吸器・アレルギー内科学講座(Junさん)
- ・3月 2日(月)～3月13日(金):医学部皮膚科学講座(Yeonさん・Junさん)



## ■教員・研究者の医学交流

本学は、パウロ財団(フィンランド)、アルバータ大学(カナダ)、中国医科大学、マサチューセッツ州立大学(アメリカ)、佳木斯大学(中国)と研究者の交流協定を締結しており、これら海外の大学間と、研究者の相互交流を行っています。

平成25年度は4大学に4名を派遣し、また、3大学から3名の交流研究者が来学されました。

### (1)派遣

#### ①パウロ財団(トゥルク大学)

- ・交流研究者: 医学部放射線診断学 畠中 正光 教授
- ・交流期間: 8月15日(金)～8月29日(金)

#### ②佳木斯大学 康復医学院

- ・交流研究者: 保健医療学部作業療法学科 小塚 直樹 教授
- ・交流期間: 8月17日(日)～8月30日(土)

#### ③マサチューセッツ州立大学

- ・交流研究者: 医学部腫瘍・血液内科学講座 宮西 浩嗣 講師
- ・交流期間: 9月21日(日)～10月4日(土)

#### ④アルバータ大学リハビリテーション医学部

- ・交流研究者: 保健医療学部看護学科 浅利 剛史 助教
- ・交流期間: 2月8日(日)～2月22日(日)



## (2) 受入

本学における教育・研究の発展を図るため、来学された交流研究者を講師とする「国際医学交流セミナー(以下「セミナー」といいます。)」を実施しています。

### ①中国医科大学

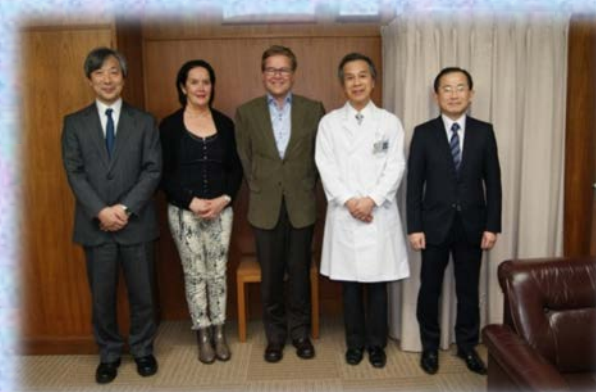
- ・交流研究者: 中国医科大学第一附属病院神経内科 宋 禾(ソン ヘ)医師
- ・受入先: 医学部消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座
- ・交流期間: 10月5日(日)～10月18日(土)
- ・セミナー: 中国における研修医の研修課程について(10月14日(火)開催)

### ②佳木斯大学

- ・交流研究者: 佳木斯大学康復医学院 譚 麗萍(タン リーピン)講師
- ・受入先: 保健医療学部理学療法第一講座
- ・交流期間: 11月24日(月)～12月23日(火)
- ・セミナー: 佳木斯大学と札幌医科大学のリハビリテーションに係わる交流研究について

### ②パウロ財団

- ・交流研究者: ヘルシンキ大学 Pkka Juhani Nieminen (ペッカ ユハニ ニエミネン)教授
- ・受入先: 医学部産婦人科学講座
- ・交流期間: 1月5日(月)～2月1日(日)
- ・セミナー: HPVに伴う疾患はワクチンによってなくなるのかー世界的に、地域的に(1月20日(火)開催)



## ■日系研修員事業

中南米日系人に対する理学療法の習得及び中南米日系人作業療法士に対する教育や臨床の機会を提供するため、本学では平成19年度からJICAの委託を受け、これまで5名の研修員を受け入れています。

平成26年度においては、JICA日系研修員として、山本小百合さん(パラグアイ)を保健医療学部理学療法学第一講座で5月20日から3月6日までの10ヶ月間受け入れ、小児や高齢者を中心とした理学療法に対する研究を行いました。



## ■ロシアサハリン州からの研修

ユジノサハリンスク市立アングジーノフ記念病院 ロジュコフ医師が公益信託北海道・ロシア極東医療交流基金サハリン州医師研修事業により、本学附属病院で研修を行いました。

公益信託北海道・ロシア極東医療交流基金(コースチャ基金)は、平成2年にサハリン州から火傷を負ったコンスタンチン君を本学附属病院に緊急搬送し、治療を行った際の義援金について、「北海道とサハリン州との医療交流に役立ててほしい」という両親の申し出により創設され、運用されているものです。

平成4年度からスタートした本事業による研修受入は、20回目を迎えています。

- ・研修日程: 1月26日(月)～2月6日(金)
- ・受入先: 医学部救急医学講座、消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座



## ■報告会

本学では、国際医学交流事業(旧:北方医学交流事業)をはじめとする交流事業を展開しておりますが、本学から海外の大学へ派遣した方々の交流・研究成果を広く共有し、本学の教育・研究の発展に役立てるため、例年、国際交流活動報告会を開催しています。

平成26年度は、学長をはじめ約50名の学生・教員が参加しました。

・日時:1月19日(月)

・場所:北第1講義室

・報告:国際医学交流事業(アルバータ大学)  
(フィンランド トウルク大学)  
(佳木斯大学)  
(マサチューセッツ州立大学)

岩本えりか助教  
畠中 正光教授  
小塚 直樹教授  
宮西 浩嗣講師  
派遣学生  
派遣学生

アルバータ大学語学研修

韓国カトリック大学臨床実習派遣事業



発行:平成27年8月

編集:札幌医科大学国際交流部(事務局経営企画課 主査(国際・学術交流))

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

電話:011-611-2111(内線2166)

FAX:011-611-2237